





むらさき朝会「友達のよいところをさがそう」

本日2(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「友達のよいところをさがそう」です。私の方からは、子供たちに「これは何の写真でしょう?」と問いかけ、一枚の写真を提示しました。それはサルが毛づくろいしている写真です。サルは毛づくろいすることによって脳にβエンドルフィンが出されるそうです。このβエンドルフィン、痛みを和らげ、幸福感をもたらす成分で、これによって互いに気持ちよくなり、仲間を増やします。それでは、毛づくろいしない人間は、どうやって仲間=友達を増やすのでしょうか?人は、脳を発達させ、周りの人との楽しい会話や一緒笑うことで、仲間を増やしてきたのです。ただ最近の気になることとして、友達が多ければよしとするような社会の風潮です。SNSでの「いいね」の数やフォロワーの数が誰でも可視化され、数が多いといいというような誤解を生みます。大事なものは「大切なものは量より質で、どれだけ友達といい関係を結んでいるか」ということなのです。逆に友達は必要かという問いがあります。それに対する答えは「必要である」です。なぜなら友達作りは人間関係作りの練習になり、社会に出ていく子供たちにとって重要だからです。確かに、友達関係は、面倒くさいことや、嫌になることも起こります。だからこそ、自分以外の他人とどう関係を結び、どうやってともに生きていくかを考えて工夫や努力をする「友達を作ろうとする行動」が一番重要と言えるのです。「人間」は「じんかん」とも読めます。人は人との間でしか生きていけないからです。この学校と言う場所は、社会に出るまでに、人間関係を学ぶ最高の場所と言えるのです。

そこで、今月の生活目標の「いいところをさがす」ということを実際にやってもらいました。「友達のいいところを3つ以上言える人?」とZoom上で問うと、何人もの子供たちが手を挙げてくれました。また、よさを言われた友達もきっと嬉しかったと思います。よさを見つける視点には「心のパズル」のピースにもあるので、それも紹介し、さらにレベルアップするよさ見つけの視点も知らせました(右図)。

今月の生活目標に向かって、子供たちが「帯西グリーン」の心を膨らませながら、笑顔で学校生活を送って欲しいと願いました。

すてきな歌声が響いた「にぎわい祭り」

10月29日(日)に、水まち水前寺実行委員会主催、帯西まちづくりの会協賛の、「にぎわい祭り」がありました。本校からは、合唱部が祭りに参加し、「かっぱ」「ふるさと」「ビリーブ」三曲を歌いました。紫のTシャツを着て堂々と元気いっぱい歌声を公園に響かせ、多くの観客の方が聞き入っておられました。6年生の「今日の歌はいかがでしたか?」には、また、観客の皆さんから大きな拍手が送られ、水前寺に居ることを縁に集った人々の温かさにもふれたひと時でした。

ともだち ひつよう
友達は必要か?

しゃかい へ 間だ ともだち ひつよう
社会に出るまでの間に友達は必要

ともだち つくろうとする 行動が 一番重要
○友達をつくろうとする行動が一番重要

面倒くさいことや、嫌になることも起こる。
自分以外の他人とどう関係を結び、どうやってともに生きていくかを考えて工夫や努力をする。

↓

にんげんかん けいづく れんしゅう
人間関係作りの練習になる

せいかく み
**「性格」見つけては
ないレベルの高い「よさ」見つけ!**

- ▶ 普段一緒にいない友達のよさを見つける。
- ▶ 友達の「成長」に目を向ける(以前に比べて成長したこと、新しく発見したことなど)。
- ▶ 友達のよさを自分の成長につなげている。
- ▶ 学級目標と照らし合わせて、友達やクラスや目を向けている。